

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 〒763-5110  
会長 黒須一夫  
幹事 大口弘和  
会報委員長 秋山茂則

No.36

ロータリーを楽しもう!  
ENJOY ROTARY!

1989~90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第378回例会 平成2年3月27日(火) 晴

### ◇ “それでこそロータリー”

#### ◇ 出席報告

会員 62名 出席 44名

出席率 70.97%

前回 3月20日 (修正出席率)96.77%

#### ◇ ビジター紹介 8名

#### ◇ お誕生日祝福

成田君(3/21)、青山君(3/31)

水野(民)君(3/31)、新美君(4/1)

大谷君(4/1)、渡辺君(4/1)

#### ◇ ニコボックス

安藤 鑑之助君 松居君、3月21日は大変御世話になり有難度う。

全員大変喜んでくれ助かりました。

小坂井 盛雄君 中日C.C.でのゴルフ会で優勝させて頂きました。

勿論パートナーが最良のメンバーでした。

山本 真輔君 ホームクラブ御無沙汰しました。先日、15RCの麻雀会で五等賞をいただきました。

黒須 一夫君 ゴルフ会で私の家内が優勝させて頂き有難うございました。

黒野 貞夫君 お耳をけがします。

西川 豊長君 所用のため早退させて頂きました。

杉浦 比左夫君 西川君、鈴木(理)君、大変お世話になりました。

佐久間 良治君 15RC麻雀会に欠席し御迷惑をおかけしました。

浅井 誠寿君 全国高校選抜庭球大会で優勝しました。

成田 良治君、青山 敏郎君、水野 民也君  
新美 敢君、大谷 和雄君、渡辺 辰夫君  
誕生日祝い。

#### ◇ 大口幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。

### ◇ 黒須会長挨拶

“ロータリー財団と米山奨学金”

#### 1. ロータリー財団

ロータリー財団は非営利財団法人で、貧しい人々や有意義なプロジェクトに対して、世界各地で人道主義に裏付けられた補助金を支給し、奨学生や教員、実業人や専門職業人の国際交流に教育補助金を支給しています。

ロータリー財団の目標は以下のようです。博愛、慈善、教育または人道的という特質をもつ明確、かつ効果的なプロジェクトの促進を通じて、さまざまな国の国民のあいだに理解し友好関係を助長することであります。

実際的な方法としては国際レベルでの

#### 1) 人道的プログラム

(1) ポリオプラス(急性小児感染症の予防接種のためのワクチン購入費)

(2) 3H(保健、飢餓追放、人間性尊重)プロジェクト補助金

(3) 特別補助金

(4) ロータリーボランティア

#### 2) 教育的プログラム

(1) 奨学生に対する奨学金

(2) 開発途上国における教師のための補助金

(3) 研究グループ交換(GSE)

ですが、中でもポリオプラスと奨学金に重点がおかれており、予算総額の75.4%を占めております。

本ロータリーでもロータリー財団奨学生2名(飯田靖君—ミシガン大学、竹下鈴鹿君—オレゴン大学)がいます。

来日ロータリー財団奨学生1名(Spath Alexandraさん ドイツ)がいます。

優秀な若人の養成・国際理解のためにロータリー財団への寄付をおねがいたします。

1000ドル以上寄付した方はポール・ハリスフェロー、何年かの間に合計1000ドルの寄付をすることを承諾し、また100ドルを寄付し

た方は準ポール・ハリスフェローとなりますことは御承知のとおりであります。

## 2. 米山記念奨学金

日本にロータリーをつくられた米山梅吉氏（故人）の功績をたたえて、1953年東京ロータリークラブの事業として発足しました。

その後、全日本ロータリークラブの賛同と参加を得て、我が国のロータリークラブの大部分がこのプログラムに参画しております。現在はロータリー米山奨学会（財団法人）となっております。

主としてアジア諸国から日本にきている留学生の中から選考の上、選択して奨学金を支給しております。

対象とする留学生は主に博士課程または修士課程に在学中のもので、指導教官の推薦を必要とします。支給期間は2カ年ですが、事情によって延長する場合があります。

今日までの支給延人数は6000名近く、支給総額は47億円をこえています。

本ロータリーには、台湾の張国華君の米山奨学生がいます。

この米山記念奨学金は寄付行為となりますのでよろしく御協力をおねがいたします。

### ◇ 講演

第1回 美シリーズ <<書>>

—— 書に親しむ ——

会員 黒野 貞夫 君



今ここに<<無>>という文字を書いてみました。山田無文倪下の書はもっと太くて力強いものです。一般には禅僧の書を墨跡といって、破格法外な中に精神的な格調の高いもので見ると見ることがあります。松林寺の西村さんに別の機会にお話をいただければ幸甚にと思っています。日展に出品の“春曙”を多数の方に見ていただき光栄に存じています。

さて、ここにいくつもの<<寿>>を書いてみました。漢字の篆書・隸書・楷書・行書・草書です。そのほかに私の専門とする仮名、そして篆刻といって印を刻するものがあります。刻字というのは木の板に文字を刻み作るもの



で屋号の看板などに見受けます。こうしてみてきますと、一言に<<書>>といってもいくつもの分野にわかれます。

これらの書に親しむにはどうしたらよいのか——その近道をさがしてみようと思うのです。直接先生について習うのがよいのですが、なかなか上達はむづかしいものです。ゴルフにしてもマナーを学ぶと同時に練習がいります。例えば、署名をする自分の名前にしても同じことです。一字10,000回というくらいです。黒野貞夫と最低40,000字は書いてみないと第一関門は通過できません。そうして、図にあるような拓本を額にして掲げ、



眺めるとか、法帖を手にとって見るのもよいでしょう。また、印材といって篆刻の石（田黄によく似た杜陵坑、鶏血、広東緑）にはいろいろあって手にするのは宝石にも似て楽しいものです。また、中国の墨で丸い大型の百爵図や日本の藤白墨なども珍品です。硯は端溪硯がよいです。私の日頃愛用の小型の端溪です。上品で使いよい硯と思います。

こうした文房四宝（筆や紙には言及できませんでしたが）に触れてみることによって書に親近感を持ち、少しずつでも近づくことができるならば、あなたの人生はより豊かなものになるでしょう。そのほかに写経といって、お経を書く（般若心経）のもよいですし、手紙を筆で書くことも楽しみなことです。私が清水比庵先生に九十の賀の年賀状を出した返事にいただいたのが、<<長書・比庵九十試筆>>でした。絵心をも書の線に見ることのできる傑作として愛蔵の作品です。ある時に読んだ新聞の記事に“書は見るべし、絵は読むべし”というのがありました。この批評眼で書を見て下さると、書に対して、より一層に親しんでいただけるのではないかと思います。

### ◇ 例会変更のお知らせ

名古屋名東RC 4/10(火)春の家族会の為、  
4/15(日)大阪「花の万博」  
名古屋港RC 4/13(金)家族観桜会の為、  
4/8(日)定光寺「千歳楼」  
トヨタ自動車博物館にて  
AM10:00 より

### ◇ 次回例会（4月3日）

講演 “アメリカ体験”  
会員 石田 紘 君

### ◇ 次々回例会（4月10日）

講演 “生命保険業界の資産運用の現状と  
社会公共活動”  
会員 安江 敏昭 君